

学校番号	14	学校名	静岡県立浜名特別支援学校	記載者	木本 恭嗣
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
【笑顔】環境づくり	安全で安心な学校生活	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が自分の命を守るために適切な判断をし、行動できる指導や支援ができています。 職員が校内や校外での発災時に取るべき行動を具体的に想定できています。 児童生徒が自らの健康を意識し、維持増進に向けた取組を行っている。 毎日の医療的ケアが安全に実施できています。 児童生徒が、食に関する関心をもったり、知識を身に付けたりすることができています。 月1回の点検や日頃の巡回により校内で早期対応する環境整備ができています。 安心して授業に参加したり、自らの考えを発信したりできる環境をつくることができています。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育に関しては、家庭（保護者）も巻き込んでいく必要がある。子どもが自ら健康を意識していくことに取り組んでいることが良いと思う。 コロナ禍という現状もあるからこそ、健康への意識を自分自身で高めていく必要がある。
	専門的指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 支援の内容や方法について、関係者と共有しながら支援ができています。 「個別の指導計画」が授業の計画時や振り返り時に活用され、授業改善に役立っている。 自分自身の指導力が向上してきていると実感できている。 自主研修会やOJTチームによって得られた気づきが指導や組織運営に生かされている。 職員間で雑相（雑談と相談）できる時間が増えている。 不祥事案件の発生件数0。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画に関しては、小中学校でもその子に対応して作成をしているが、特支では授業づくりにまで生かしていることが素晴らしい。 個別の指導計画を作成にとどまらず、活用にも至っていることが良い。 OJTによる専門性の向上は良い。外へ出る前には内面を磨くことも必要である。
【仲間】活動づくり	主体性を発揮できる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がワクワク（期待感と意欲）する姿と夢中に取り組む姿を実現する授業ができています。 自己理解、自己選択、自己決定を促す機会を作り、将来の社会生活を自分事として捉えることのできる学習ができています。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は研修によって自分自身を高め、そのうえで児童生徒へ還元をしていく必要がある。 交流籍校交流は名簿を通じて、その子の実在を知ることから始まる。

	<p>関わり合いが生まれる授業づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本に親しむ機会の確保や働き掛けをとおして、児童生徒の興味関心や関わり合いが広がっている。 ・学校内外の環境を生かした活動をとおして、児童生徒の発想や表現を引き出すことができている。 ・自分や友達の考えを発信したり、受け止めたりする学習ができている。 ・授業を見合うことをとおして互いを理解し合うことができている。 ・行事において、児童生徒同士の関わり合いの場を作り出すことができている。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・図書コーナーを充実させ続けることは予算的に難しいかもしれないが、是非継続して行ってほしい。 ・困ったときに伝えることができれば社会に出た時に多くの人と関わり合うことができるため、必要なことだと思う。
【地域】	<p>関係づくり</p> <p>地域とつながる活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流が生まれ、地域資源を活用した学習活動を実施できている。 ・家庭や地域への分かりやすい情報発信ができている。 ・交流籍を活用した交流や学校間交流が互いの児童生徒にとって、自分を表現できる活動内容になっている。 ・地域の幼・保園や小・中・高校からの依頼を受けて、必要なサポートをすることができている。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は中学部と協働作業（奉仕作業）ができてよかった。回数を重ねていくうちにもっと楽しめるようになる。 ・高等部の地域販売会がなくなったことがとても残念だった。生徒が地域のいろいろな人と関わり、コミュニケーション力を高めることは卒業に必ず役に立つ。